

バイデン政権がもたらす 新たな米中危機

バイデン政権が
もたらす

新たな米中危機

激震する世界と日本の行方

黄文雄
Kou Bunyu



9784198652265

ISBN978-4-19-865226-5

C0022 ¥1500E (0)

定価: 本体1500円+税

黄文雄

(こう・ぶんゆう)

1938年、台湾生まれ。1964年来日。早稲田大学商学部卒業、明治大学大学院修士課程修了。『中国の没落』（台湾・前衛出版社）が大反響を呼び、評論家活動へ。1994年、巫永福文明評論賞、台湾ベンクラブ賞受賞。日本、中国、韓国など東アジア情勢を文明史の視点から分析し、高く評価されている。

著書に17万部のベストセラーとなった『日本人はなぜ中国人、韓国人とこれほどまで違うのか』の他、『黄文雄の近現代史集中講座』シリーズ、『韓国人に教えた日本と韓国の本当の歴史』『世界から絶賛される日本人』『世界はなぜ最後には中国・韓国に呆れ日本に憧れるのか』『世界を変えた日本と台湾の絆』『中国の正体 知ってはいけない「歴史大国」最大のタブー』『新型肺炎 感染爆発と中国の真実』『親中派の崩壊』（以上、徳間書店）、『もしもの近現代史』（扶桑社）など多数。

バイデン大統領は中国にひれ伏すのか、それとも最終戦争へと突入するのか。アメリカ新政権の特質と中国との関わり、習近平政権が目論む現状変化、世界と日本に起こる大激震を分析。

世界中を巡り、台湾、日本、アメリカでの中国ロビーの実態を知悉する著者が、激変する世界秩序と日本の行方を解説。



黄文雄

徳間書店

本書の内容

- ◎バイデン大統領の中国スキャンダルの真実
- ◎世界から上がるバイデン政権に対する懸念の声
- ◎日本の親中派が活気づく恐れ
- ◎高まる中国の尖閣・台湾侵略の実現性
- ◎ワクチン外交で世界を屈服させようとする中国の口口
- ◎ついに反中国に転じたドイツの裏事情
- ◎「中華史観」を世界に押し付け始めた中国
- ◎「大一統」こそが中華思想の中心
- ◎新型コロナ後の「戦狼外交」とアヘン戦争
- ◎動き始めた日米台の連携が中国の野望を打ち崩す ほか